

1. エンジン発電機の特長

(1) 任意の場所で簡単に発電することができます

土木・建設・港湾工事で、また、パイプライン工事など移動する現場などや出張修理に、そして、TV中継や各種イベント（催物）、レジャーにと可搬形エンジン発電機は任意の場所で電力を供給することができます。

(2) 効率的な運転、安定した電力確保が可能です

エンジン発電機は負荷容量に見合った出力及び設置台数の適正な選定によって、効率的な運転をすることができます。また、メンテナンス時及び突発事故時に他機のバックアップができるため安定した電力の供給が可能です。すなわち、プラント工事などの現場においても工期によって必要とする電源容量に見合ったエンジン発電機の運転ができ、更に、余剰機は他の現場に利用でき経済的です。

(3) 取り扱いが容易で、始動が確実です

ディーゼルエンジン又はガソリンエンジンは、他の原動機に比較して、始動・停止が簡単にできます。特に始動は迅速で、発電開始まで通常 10～40 秒程度まで短縮することができます。かつ、自動化が容易です。したがって、移動用発電装置（車載式及び可搬式）は現場ですぐ作業が開始できますし、非常用発電装置又は常用発電装置としても使用されます。

(4) 熱効率が高く、経済的です

他の原動機と比較して熱効率が高く、燃料消費率が少なく経済的です。また、燃料は軽油やガソリンなどで容易に入手できます。

(5) 製作期間が短く、短納期で安価です

エンジン発電機には、汎用の産業用エンジンを搭載しており、製作期間が短く、短納期で安価です。また、発電装置の現場での設置も容易です。